



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり
連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.91 2019年11月

決算委員会

10月に2018年度の決算委員会があり、日本共産党からは出町が決算委員として出席しました。そのいくつかを紹介いたします。

行政サービスコーナーは復活を

マイナンバーカードを使えば、コンビニで各種証明書が交付されるということ、行政サービスコーナーが廃止をされました。しかし、コンビニ交付は昨年15,510件と行政サービスコーナーで交付されていた52,494件には遠く及びません。コンビニではなく市民課での交付が約46,000件増えています。

また、現在国からの補助はありません。市の答弁ではコンビニ交付の費用として、2、

学校給食パンは安全か？

学校給食のパンやパスタの小麦は、アメリカ、カナダ、オーストラリア産です。アメリカ、カナダ産の小麦を使ったパンの費用は約2,000円にもなりません。マイナンバーカードの普及も進んでいないこともあり、マイナンバーカードはやめること、行政サービスコーナーの復活を強く求めました。

2015年、世界最大規模の国際がん研究機関はグリホサートを発がん性に関して5段階の上から2番目に高いと評価しています。オーストラリアやチェコ

先生の働く残業時間は異常！

全国でも、先生の働きすぎが大きな問題となっています。高槻市でも昨年度の時間外在校時間は、管理職で小学校では60時間以上、中学校では実に90時間以上、一般職でも小学校30時間、中学校70時間以上です。月80時間以上が過労死ラインと言われているので、90時間以上というのはとんでもない数字です。

英語教育やプログラミング教育など新しい教科が増えても、実施してほしいと要望しました。この問題は高槻市だけの問題ではなく、国に対してアメリカ、カナダ産の小麦の輸入禁止とグリホサートの使用禁止を求めていくことが必要です。



(裏面に続く)

けて先生の増員を要望し続けることが必要だと訴えました。

子ども食堂について

子ども食堂は全国で2,300か所以上と急速に広がっています。子どもの貧困が言われている中、地域社会にとっても重要な存在になっています。

昨年度から府の事業で子ども食堂への運営補助が始まりました。昨年度が把握している子ども食堂は8か所。しかし、運営補助を受けているのは1か所だけです。わたしは「高槻市の募集要項を見ると、月2回以上、年20回の開催が明記されている。しかし、茨木市は現在8団体16か所の子ども食堂が補助を受けている。要項には月1回以上の実施とされ

ており、市のホームページにもそれぞれの子ども食堂の場所、連絡先や高校生や大学生向けへのボランティア

募集も掲載している。高槻市としても、もっと子ども食堂を知らせていく取り組みや支援体制を整えることが必要。募集要項をもっと柔軟にするように」と要望しました。



ご存知ですか?

「要介護認定」で障害者控除認定書が発行されます

高槻市の要介護認定者は10,089人です。そのうち、障害者控除を受けている人は76人しかいません。

岩手県盛岡市では、該当者全員に対して通知し、認定申請書を送付したところ、前年の倍の約800人が控除対象者になっています。

障害者控除の内容ですが、「普通障害者控除」の対象となれば、所得税で27万円、住民税で26万円の控除が受けられます。「特別障

害者控除」の対象になれば、所得税で40万円、住民税で30万円の控除が受けられます。

わたしたちは、「高槻市もこの制度の周知をすること、また要介護認定を受けている人たちが現場で支えているケアマネージャーや地域包括支援センターへの周知もするように」と要望しました。



地域の声



「つまずきそう、危ない」という声が多く寄せられ、市が修繕をしました。

芥川商店街の歩道のタイルが修繕されました

